2023年度　地球惑星科学系　学士特定課題研究発表会プログラム

2月13日（火）場所： MISHIMA-Hall　　**発表：９分　質疑応答:３分　交代：１分**

	時 間	氏 名	題目
1	9:00 - 9:13	石森 慧也	高温高圧大歪変形実験から推察する下部マントル条件下でのMgOの結晶選択配向
2	9:13 - 9:26	尾崎 蒼	地球型惑星・氷衛星のレオロジー構造と熱流束の推定を可能にする計算プログラムの構築
3	9:26 - 9:39	中尾 考高	ブリッジマナイトの高温高圧下における格子熱伝導率の測定
4	9:39 - 9:52	大城 榛音	衝突シミュレーションによる高密度ダストアグリゲイトの跳ね返り条件の推定
5	9:52 - 10:05	小嶋　一生	原始星アウトフローにおけるCO分子の紫外線解離の重元素量依存性
6	10:05 - 10:18	辻 健太	機械学習による電波干渉計画像構成法の分子雲観測への応用
7	10:18 - 10:31	大橋　一輝	スパースモデリングによる円盤イメージングの理論モデルを用いた検証
8	10:31 - 10:44	伊東 有飛	物質循環モデルを用いた生物進化が初期地球環境に及ぼした影響についての研究
	10:44-10:54		**休憩（10分）**
9	10:54 - 11:07	長池 広樹	草津白根山における重力異常解析
10	11:07 - 11:20	新藤 清	繰り返しGPS観測による草津白根山の地盤変動検出の試み
11	11:20 - 11:33	北村 峻之輔	ゾーニングを考慮した太陽光発電の導入ポテンシャルに関する研究　―長野県を事例にして―
12	11:33 - 11:46	柏倉 キーサカリル	人体内部組成の差異が溺水シミュレーションに及ぼす影響の検討
13	11:46 - 11:59	佐藤 宏樹	地名と表層30m平均S波速度の関係に関する統計的評価
14	11:59 - 12:12	斉藤 稜真	スペースデブリ管理のガバナンスに関するシナリオ分析
	12:12-13:30		**昼休み**
15	13:30 - 13:43	菊池 琉青	火星への大衝突の破片の軌道進化とその破片による小惑星への高速衝突の影響
16	13:43 - 13:56	定金 裕朔	原始太陽系模擬有機物の固着化学特性
17	13:56 - 14:09	宮脇 誠一	天体衝突によって駆動される化学反応に関する理論的研究
18	14:09 - 14:22	岩﨑 陽生	リュウグウ母天体の熱史に関する数値計算
19	14:22 - 14:35	毛利 晃大	CO大気からの光化学的有機合成における硫黄の役割
20	14:35 - 14:48	内山 貴斗	好熱好酸性硫酸還元古細菌の硫黄同位体分別
21	14:48 - 15:01	田中 佑磨	スコットランド北西部、太古代ルイス片麻岩体に産する超苦鉄質岩の強親鉄性元素地球化学
22	15:01 - 15:14	小松 真喜	能登半島群発地震における繰り返し地震の時空間分布
	15:14-15:24		**休憩（10分）**
23	15:24 - 15:37	高橋 宗茂	東北内陸部で観測される異常なSmS波と東北日本海側の地下構造
24	15:37 - 15:50	橋本 雅弘	地震の震源メカニズムから推定した関東地方北東部のフィリピン海スラブの北限
25	15:50 - 16:03	江原 一輝	揮発性元素の拡散から見るコンドリュール形成条件
26	16:03 - 16:16	塩澤 郁哉	分子雲中の物質拡散と太陽系の同位体不均質について
27	16:16 - 16:29	宮本 勇成	形成期の原始太陽系星雲における酸素同位体比について
28	16:29 - 16:42	山田 祥悟	分子雲内における物質混合の解明に向けて：数値計算法のテスト
29	16:42 - 16:54	梶木屋 裕斗	M型矮星YZ CMiのフレアの測光・分光同時観測：Hα線に現れる青方/赤方偏移成分の起源